

資料3

平成29年度

ニホンザル管理事業実施計画書(市町村分)

ニホンザル

白石市	1
角田市	2
蔵王町	3
七ヶ宿町	4
川崎町	5
丸森町	6
仙台市	7
山元町	9
加美町	10

平成29年9月

宮城県環境生活部自然保護課

平成29年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

白石市

H29計画	備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 0.84 ha 0.93 ha (2) 金額(下段前年度) 2,220 千円 2,467 千円 (3) 作物 水稻、リンゴ等 (4) その他	10%減を目標とする。
2 被害防除対策 (1) 銃器による群れの追い上げ及び捕獲の実施。 (2) 電気柵・防護柵の設置に対する補助の継続。 (3) 廃棄野菜・生ゴミを適正処理するよう農家への指導を徹底する。	
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 3 頭 発信機装着の更新基數 頭 (1) 一群の追跡調査 (2) 発信機装着	
4 生息環境管理 (1) 水稻の被害軽減のため水田周辺の除草作業を推進する。 (2) 山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進する。	
5 その他 (1)	

平成29年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

角田市

H29計画	備考	
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 0.00 ha 0.00 ha	平成28年度に引き続き、被害がでないよう に速やかな追い払い活動や捕獲を行う。	
(2) 金額(下段前年度) 0 千円 0 千円		
(3) 作物 (4) その他		
2 被害防除対策 (1) 柿の実などの放置をなくすよう周知する。 (2) 銃器による追上げ、追い払いを実施する。 (3) ニホンザル用の電気柵設置を推奨する。		
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基數 (1) (2)	頭 15 頭 頭 頭 頭	南方から一部群れで侵入したり、また、ハナ レザルの侵入・生息が推測されることから、 実施隊による追払い、捕獲活動を実施す る。
4 生息環境管理 (1) 実施隊による被害防止パトロールを実施 (2)		
5 その他 (1) 広報等による被害防止対策の呼びかけ		

平成29年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

蔵王町

H29計画	備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 0.01 ha 0.02 ha (2) 金額(下段前年度) 10 千円 40 千円 (3) 作物 林檎、白菜 (4) その他	面積、金額ともに平成26年度の50%に抑えることを目標としている。
2 被害防除対策 (1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用花火を併用した効果的な追払い、捕獲の実施。 (2) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施。 (3) 生ゴミや農作物残渣を適正処理するよう農家へ指導。	
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数 (1) 生息調査の実施 (2)	頭 50 頭 3 頭 頭
4 生息環境管理 (1) 山林側との境界付近の除草作業により領域の明確化を図る。 (2)	
5 その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会との広域的な被害対策の実施	

平成29年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

七ヶ宿町

H29計画	備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 5.30 ha 5.30 ha (2) 金額(下段前年度) 2,930 千円 2,930 千円 (3) 作物 そば、水稻、野菜の被害軽減 (4) その他	七ヶ宿町鳥獣被害防止計画に基づき明記。 七ヶ宿町鳥獣被害防止計画に基づき明記。 七ヶ宿町の特産である「そば」、「水稻」及び「野菜」の被害軽減は重要な課題であるが、電気柵の設置を推奨し、定期的な見回りを指導していく。
2 被害防除対策 (1) 電気柵設置の推奨 (2) 電気柵講習会の開催 (3) 追い払いの実施	電気柵の設置を促し、管理についても指導をする。町単独事業で電気柵に係る経費の3分の2の補助を行う。 常時追い払い活動を実施し、人間とニホンザルの境界線を明確にしていく。
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 300 頭 発信機装着の増設数 3 頭 発信機装着の更新基數 7 頭 (1) 生息調査の実施 (2)	七ヶ宿町鳥獣被害防止計画に明記。 生息調査の実施により、群れ毎の流動域や個体数を把握し、農作物の被害軽減を図る。
4 生息環境管理 (1) 放棄、取り残し農作物の除去の指導 (2) 耕作放棄地の軽減	行政区長や防災無線等で周知を行う。
5 その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会との 広域的な被害対策の実施	南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会に参加することにより、隣接市町の情報や被害対策等の情報交換がスムーズに行われる。

平成29年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

川崎町

H29計画	備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 0.40 ha 0.28 ha (2) 金額(下段前年度) 346 千円 242 千円 (3) 作物 かぼちゃ、大豆、トウモロコシ等 (4) その他	被害面積、金額ともに昨年の3割減を目標とする。
2 被害防除対策 (1) 実施隊による捕獲活動の実施 (2) 電気柵の普及、補助 (3) 広報等での有害鳥獣の対策紹介	実施隊による週一回の町内パトロールを実施
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基數 (1) 生息域調査の実施 (2)	頭 50 頭 2 頭 頭
4 生息環境管理 (1) 看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。 (2)	
5 その他 (1)	

平成29年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

丸森町

H29計画	備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 0.10 ha 0.00 ha (2) 金額(下段前年度) 100 千円 0 千円 (3) 作物 水稻、豆類、えんどう、きゅうり、大根、柿、 りんご (4) その他	
2 被害防除対策 (1) 住民による自主防除対策への支援 ・電気柵設置に対する補助 ・追払い用花火の無料配布(希望者) (2) 鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った 追払い、捕獲の実施 (3) 追払いパトロール員による花火での追払 いの実施	
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基數 (1) (2)	頭 25 頭 2 頭 頭 耕野の群れによる農作物への被害は比較的少ないが、大内に生息する群れは、大きな群れから分裂した群れの移動が活発であり、農作物被害が懸念される。東北野生動物保護管理センターとの情報交換などを重ね、効率の良い追払いや捕獲を行う。
4 生息環境管理 (1) 耕作放棄地の除草や山林の適正な管理 を呼びかける。 (2)	
5 その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会への 参加による広域的な対策の研修や他市町 との情報交換を行う。	

平成29年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

仙台市

H29計画	備考								
1 被害軽減目標 <p>(1) 面積(下段前年度) 0.25 ha 0.13 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度) 470 千円 168 千円</p> <p>(3) 作物 水稻、玉ねぎ、長ねぎ、馬鈴薯、トウモロコシ等</p> <p>(4) その他 サルのエサとなる誘引物(果樹や農作物の残さ等)の除去や適切な管理を所有者に呼びかけ、注意喚起を行うことにより、生活被害の減少や人身被害の未然防止を目指す。</p>	※仙台市鳥獣被害防止計画(平成27年度策定)による被害軽減目標(平成29年度)へ向け、被害を軽減させる。								
2 被害防除対策 <p>(1) 日常的な啓発・注意喚起 ・サルとの適切な接し方や被害防止対策について、市ホームページへの掲載や公共施設での啓発チラシの配架等により広報啓発。 ・特に出没が多い地域において、サルの被害防除対策を地区祭り等で啓発。 ・農作物収穫後の残さ処理の指導等。</p> <p>(2) 出没情報を受けた際の対応 ・出没地域において、誘引物の除去、周辺の刈り払い・除草、電気柵設置等の被害防止対策の助言・指導。 ・必要に応じて、花火による追い払いを実施。 ・被害状況により、獣友会等と連携し地域の特性に応じた追い上げや、箱わなの設置・捕獲を実施。 ・国の鳥獣被害防止総合支援事業の活用による、ニホンザルの捕獲経費への補助(成獣:8,000円/頭、幼獣:1,000円/頭)</p>									
3 個体数管理 <table> <tr> <td>個体数調整による目標捕獲数</td> <td>130 頭</td> </tr> <tr> <td>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数</td> <td>0 頭</td> </tr> <tr> <td>発信機装着の増設数</td> <td>12 頭</td> </tr> <tr> <td>発信機装着の更新基数</td> <td></td> </tr> </table> <p>(1) 群れの生息状況管理 ・電波発信機装着により、群れの位置情報の把握 15群</p>	個体数調整による目標捕獲数	130 頭	有害鳥獣捕獲による想定捕獲数	0 頭	発信機装着の増設数	12 頭	発信機装着の更新基数		
個体数調整による目標捕獲数	130 頭								
有害鳥獣捕獲による想定捕獲数	0 頭								
発信機装着の増設数	12 頭								
発信機装着の更新基数									

<p>(2) 個体数調整による捕獲対策(人里に馴れ、奥山に戻らない群れへの対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箱わなによる捕獲実施 設置数 27基(最大) ・定期パトロールによる捕獲実施 週1回 ・大型捕獲施設による多頭捕獲の実施(秋保地区) 2基 ・農地や人家に出没を繰返し、山に戻らない群れについては、獣友会等関係機関と連携し、地域特性に応じた追い上げ・捕獲を実施。 	
<p>4 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サルとの適切な接し方や被害防止対策につき、市ホームページや公共施設での啓発チラシの配架等により広報啓発。 ・群れの位置情報の把握、追い上げや捕獲への活用。 ・獣友会等関係機関と連携した効果的な追い上げや捕獲の実施。 	
<p>5 その他</p> <p>(1)</p>	

平成29年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

山元町

H29計画	備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 0.04 ha 0.61 ha (2) 金額(下段前年度) 100 千円 127 千円 (3) 作物 りんご、野菜 (4) その他	
2 被害防除対策 (1) 緊急出動体制の整備、行政区長を経由して、被害を受けた農家個々が追い払い用の花火により追い払いを実施。 (2) サルに対して餌付けしないようチラシ等の周知を行う。 (3) 生ごみや未収穫農作物に適正処理するよう農家へ周知。	・住民からの目撃情報や被害情報があれば、できる限り現場確認し、情報収集に努める。
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基數 (1)これまで捕獲した実績はないが、被害が拡大するようであれば個体数調整のために捕獲する必要がある。	10 頭 頭 頭 頭 ・山元町においてサルの目撃情報や農作物被害はあるが、群れの確認はなく、生息数も増加している傾向では無いと思われる。
4 生息環境管理 (1)りんご等の摘果作業による摘果物について、適正に処理することを徹底する。	
5 その他 (1)	

平成29年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

加美町

H29計画	備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 1.03 ha 5.20 ha (2) 金額(下段前年度) 243 千円 212 千円 (3) 作物 水稻, 果樹, いも類, 自家消費野菜 (4) その他	1割から2割の軽減を目標とする。
2 被害防除対策 (1) 電気柵による畠への侵入防除 (2) 被害防除機罪への導入助成 (3) 音花火による追払い	
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基數 (1) 箱わなによる捕獲頭数の向上 (2) 実施隊によるパトロールの実施	捕獲用箱ワナ導入数 6基 頭 頭 頭 頭 30 頭
4 生息環境管理 (1) 放置された果樹のもぎ取り処分の推進 (2) 耕地放棄地の刈払いの推進	
5 その他 (1) 町ホームページでの捕獲事業の周知	広報誌等での啓蒙活動